

大手企業の電気工事技術を 持つ町の電気屋

幅広い提案力で顧客から絶大な信頼

伸陽電気工事

つゆナビ vol.1-7

伸陽電気工事(横浜市瀬谷区下瀬谷、川口一信社長、045・301・0141)は、屋内外電気設備工事設計施工、電気通信設備工事設計施工、空調和設備工事設計施工、給排水衛生設備工事を取扱っている。

東日本大震災以降、注目されるようになった各種省エネ工事を行い、一般の電気工事業が行うエアコン、LED照明の取付け工事で外にも二重窓の取付け等、幅広い提案力を持っている。

昨年は、某大手企業の物流センターの空調工事を行い、その際、トンネルの空調システムからヒントを得て、30メートル離れても、そよ風を感じることが出来る「誘因ファン」の取付けを提案し、エアコンの電力消費を半減させて、快適な従業員の職場を提供することを可能とした。

同社の特徴として、一人の担当者で仕事が終わることだ。大手企業が行う分担制ではなく、一担当者が営業、企画、設計、見積もり、工事現場の担当を行う。人材育成にも熱心で、資

格の取得を全面的にバックアップしており、11人中、7人の従業員が1級建築施工管理技士を取得している。

また、品質管理を徹底しており、中間検査を実施し、「社内検査の充実を目指し、大手企業と同等の品質です」と川口雄祐専務は品質に自信をみせる。同社は品質管理および品質保証活動の国際規格ISO9001・2008の登録を審査登録機関ベリージョンソフレジストラより認証されている。

「うちは、大手企業の電気工事技術を持つ町の電気屋です。将来のスペシャリストを一人でも多く育成したい」と川口雄祐専務は語る。



「品質管理には自信を持っている」と川口専務